新品種・新技術の確立 支援事業 取組概要 $(H30 \sim H31)$

『新たな野菜の複数品目の組み合わせや作型の開発による輪作体系の

確立と主穀作経営体の収益の周年安定化』

=富山県=

【全体概要】

富山県は主穀作に特化した農業構造となっており、米価が低迷する中で主穀作経営体の体質強化に向け、野菜生産を組み込んだ経営の複合化を推 進しているところである。しかしながら、北陸地域特有の冬期間の積雪などの気象条件から、作業時期や収益を得られる期間が限られ、野菜複数品目 の組み合わせや新たな作型の開発による輪作体系の確立と収益の更なる向上が課題となっている。 このため、機械化一貫体系や主穀作経営の労働 時間の平準化を踏まえ、複数品目の組み合わせや同一品目において新たな作型の開発を進め、主穀作経営の収益向上を推進する。

新品種・新技術等の概要

●たまねぎ

- (1)「初夏どりたまねぎ」の機械化に適した
- 加工用品種の検討
- (2)加工用たまねぎの省力的乾燥、調製方
- 法の検討

●キャベツ

(1)「秋播き春どりキャベツ」品種の検討



写真 たまねぎ品種比較



写真 キャベツ品種比較

実施体制図

- 農林振興センター 実証ほの運営、管理
- ・牛育、収量、品種等調査及び解析
 - 生産・流通に係る連携

県関係課

- 生産振興・流通対策の推進
- 生産・流通に 係る連携

広域普及指導センター (農業革新支援専門員)

実需者

•技術対策提示、助言指導

試験研究機関

現地実証に係る助言

新技術に係る連携

実証品種技術の助言

協力関係、情報共有

種苗会社・機械メーカー

協力関係、情報共有

- 品種に係る情報提供
- ・機械化体系に係る実証、助言

協力農家·JA等

- 実証は栽培管理
- ・収量品質のデータ管理
- ・加工業務用野菜の需要動向等の 情報提供

協力関係、情報共有

販売戦略等に係る助言、情報提供

主な取組内容

【実証ほの設置】

初夏どり加工用たまねぎ及び秋播き春どりキャベツの品種比較試験実証ほの 設置

【検討会の開催】

- ・実証ほ設置検討会、実証結果検討及び実需者との意見交換会の開催
- 【生産性向上・経営改善効果分析】
- 「初夏どりたまねぎ」、「秋播き春どりキャベツ」導入への経営改善効果分析

【先進地視察】

安定生産技術にかかる県外先進地調査を実施

課題と今後の対応

●たまねぎ

- ・加工用のたまねぎについては、収量性や機械化適性の面から有望な品種を選 定中であるが、さらに異なる気象条件の下で「初夏どりたまねぎ」の機械化に適し た加工用品種の検討を行う。
- ・また、加工用の省力的乾燥、調製方法については、安価で効率的に乾燥でき る方法の検討を行う。
- ●キャベツ
- ・1年目は6品種を用いて比較し、現在収量や品質について検討を行っている。
- ・今後は1年目の収穫期間の前後の時期に収穫できる「秋播き春どりキャベツ」 の新たな品種の検討を行い、収穫幅のさらなる拡大を目指す。